



県南支部 2017年の学習・教育活動本格化 パワーアップ試験には10分会で11名受験

神奈川県南支部では2017年の学習・教育活動が本格化しています。6月に北海道で開催された建交労学校には参加できませんでしたが、勤労者通信大学受講者は昨年の2名から7名に、全労連の「わくわく講座」受講者も前年から倍増しました。

また、建交労のパワーアップ試験には14分会すべてで挑戦することを方針に掲げた結果7月10日時点での受験者は下表のとおり10分会で11名まで到達しています。あと4分会の担当者は、当該分会と連携し必ず受験者を送り出しましょう。受験申し込みは、別紙「受験申込用紙」に必要事項を記載し、県南支部に送ってください。

今後の学習活動の重点は、受講者・受験者全員の修了・合格です。支部では勤労者通信大学の受講者を対象に第1回学習会を7月15日に開催します。各分会でも挑戦者個々の努力だけに任せるのではなく積極的に援助をすすめましょう。

	内外 液輸	福岡 運輸	田中 製菓	アズ マ	イワ サワ	日酸 運輸	扶桑 運輸	高橋 運輸	中日 臨海 バス	東進 産業	三昭 運輸	ギオ ン	三浦 観光 バス	合同	計
勤労者通信大学	2				1					1	3			チューター	7
わくわく講座	1	1	1		1							1		1	6
パワーアップ試験	1	1	1		2		1	1		1	1	1		1	11
計	4	2	2		4					2	4	2		2	22

交運共闘第2回全国交流集會に141名結集

交通運輸産業に関わる官民の労働組合で構成する「交運共闘」は7月8日～9日に愛知県豊橋市内で第2回全国交流集會開催しました。「集會」には全国から141名が結集（建交労は33名、県南支部からは大島書記長と赤羽特別執行委員が参加）。2005年に宮城県の松島で開催した「第1回集會」の参加者を上回りました。

集會の目的は、①地方交運共闘の空白地域を克服すること。②規制緩和政策で奪われた労働者・国民の安心・安全を回復する交運共闘の機能強化・影響力の拡大です。

沖原副議長（検数労連委員長）の開会挨拶ではじまった集會は、高城議長（自交総連委員長）の主催者挨拶に続き、関西大学の安倍誠治教授から「規制緩和と安全」と題して「規制緩和が交通運輸産業に及ぼした影響」についての興味深い記念講演がありました。その後、地方交運共闘の報告と鈴木事務局長（建交労書記次長）による「地方交運共闘の新結成に向けて」と題する基調報告を受けて初日は休会となりました。

集會2日目は、航空、トラック、タクシー・バス、公務職場、港湾の5分野のパネリストによるパネルディスカッションが行われ、会場参加者からの発言を含め交通運輸労働者と国民の安心・安全を確保する政策や運動について議論を深めました。

その後提案された集會アピール（別紙）が採択され、安藤副議長（国交労組委員長）による集會のまとめと閉会挨拶があり、高城議長の団結ガンバローで閉会しました。

交運共闘第2回全国交流集会アピール

交運共闘第2回全国交流集会は、規制緩和が進行する2005年11月の開催以来、約12年ぶりの開催となった。現在、規制緩和の弊害が自動車運転従事者の飛び抜けた過労死や深刻な人手不足にあらわれ、さらには、トラック産業の悲惨な事故や航空産業でも深刻なトラブルが頻発し、鉄道の事故は日常化している。

さらに安倍政権の戦略の柱として掲げた「国家戦略特区」では、岩盤規制を打ち破るとした、さらなる規制緩和を推し進め、「ライドシェア」と称した「白タク行為」の合法化を企てている。

こうしたなか、「ライドシェア」に対して自交総連は白タク合法化に反対する一点共同を大きく前進させ、トラック産業では人手不足解消と長時間労働の改善に向けた対策が関係機関と業界全体ではじまるなど、今後の運動への展望をきりひらく積極的な変化も起きている。

他方、「共謀罪」法の強行や「憲法9条」改悪で自衛隊の明記を宣言するなど、憲法にもとづく戦後の国の形を根本から転換する性急な動きに批判が集中し、安倍政権の暴走政治に反対する国民世論が高まっている。引き続き、労働組合として立憲主義と民主主義を取り戻すことが急務になっている。

また、アベ「働き方改革」は、過労死ラインの残業を合法化することが明らかになった。さらに最も過労死が頻発している自動車運転業務では、5年後に見直す上限案として休日労働を含まない年間960時間とした。このことは、現在の改善基準告示を維持するものであり、過労死を防止する“働き方改革”ではない。

秋の臨時国会に上程される「働き方改革関連法案」に対し「労働条件は、労働者が人たるに値する生活を営むための必要を充たすべきものでなければならない」と定めた労働基準法第1条に則した労働時間規制の検討を再開することを強く求めていく。

本集会は、「規制緩和から強化へ！安心・安全な交通運輸の確立を交運共闘組織中央・地方の強化・拡大を」のスローガンのもとに、「規制緩和と安全」についての記念講演をはじめ、各地の交運共闘組織からの報告やパネルディスカッションを通じて、各産業の現状とその背景などの問題点を浮き彫りにした。

交運共闘は、公務労組と民間労組の全国の交通運輸労働組合の結集をさらに強化し、団結してたたかいをすすめ、規制緩和による安心・安全破壊、環境破壊、国民の移動する権利の侵害などの防止に向け、必要な規制の強化・確立を求めるたたかいをいっそう進める決意である。

以上、交運共闘第2回全国交流集会を記念してのアピールとする。

2017年7月9日

交通運輸労働組合共闘会議第2回全国交流集会

建交労2017年パワーアップ試験受験者申込用紙

				月	日	申込
				県本部		
				担当者		
				支部名		
				分会・班名		
受験者氏名		年齢		あなたの業種・職種を記入してください。		
ふりがな		歳				
		組合歴		組合役員の場合は役職名を記入してください。		
		年				
		性別				
		男・女				
問題用紙・解答用紙などパワーアップ試験書類やテキストなどの「送り先」と「連絡先電話番号」※必須						
〒 — — — — — (自宅・職場・組合・携帯)						
電話番号 — — — — —						
※ 試験の受験料は5000円です。						
※ テキストおよびサブレキスト(雑誌版[写])は、受験者にお送りします。						
※ 複数人をまとめて発送・返送が可能な組織は「まとめて発送の可否」部分に○を記入してください。						
※ 料金は可能な限り、県本部を通じて振り込むようにしてください。合格をめざして頑張りましょう。						
※ 申込用紙送先：建交労中央本部書記局教育・機関誌部 FAX03(3360)8389						
Eメール		masaakisuzuki@kenkourou.or.jp				
Eメール		fukutomi@kenkourou.or.jp				
Eメール		fujii@kenkourou.or.jp				
		まとめ発送の可否				